

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部日本・ユーラシア文化コース

学年：3年

留学先大学：ユヴァスキュラ大学

現在の学期：spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	8:15~9:45,10:15~11:45 Academic English Communication 2 14:15~15:45 Family, Care and Social Policy
火	16:15~17:45 Survival Finnish
水	10:15~11:45 Academic English Communication 2 12:15 ~ 13:45 Speak up : Improving your English through Spoken Interaction
木	10:15~11:45 Survival Finnish Speak up : Improving your English through Spoken Interaction(グループワークで全5回、時間は自由)
金	
土・日	Each one teach one(ペアワークで全40時間、時間は自由)

### 履修科目や近況について

英語力を向上させたかったため、所属学科の social science の授業は Family, Care and Social Policy の1つのみで、英語の授業が2つとフィンランド語の授業1つ、言語交換プログラムを履修することにしました。授業によって始まる時期がかなり違います。

Survival Finnish は、留学生対象の初心者向けフィンランド語コースで、文法ではなく日常生活で使えるフレーズや単語を学びます。授業は週2回で、成績は出席と毎授業ごとの課題、最終テストで決まります。

Speak up : Improving your English through Spoken Interaction は、英語のスピーキング力を伸ばす授業で、1週間に1回の授業のほかに、全5回のグループワークがあり、最終授業でグループごとにプレゼンテーションを行います。成績は、出席と課題提出によって決まります。

Each one teach one は、千葉大学の lex のような言語交換プログラムで、全 40 時間のペアワークで完了します。自分が学びたい言語と相手が学びたい言語がそれぞれ合致するようなパートナーを自分で見つけなければならないため、早めに専用ウェブサイトをチェックする必要があります。

滞在先は寮の 4 人部屋で、バスルーム・キッチン・リビングは共用、鍵付きの自室は完全一人部屋で家具もついています。シーツはなかったので持ってきた方が良いです。寮は soihtu というところで、サウナやジム、自習室などが無料で使えます。学食もすぐ近くにあり、学生は学校の学食と同じ 2.95€ で自分で好きなだけ盛れます。

寮から大学までは徒歩 30 分ほどで、歩いている人もいますが、冬季はバスを利用する人が多いです。その場合、定期券を買うのがお得です。大学からユヴァスキュラの市内中心部には歩いていけるため、授業前後にそこで買い物をする人が多いです。食料品を買うには Lidl というスーパーと S マーケットが安くおすすめです。衣料品はセカンドハンドショップで安く買えます。また、IKEA や Amazon などのネットショッピングも使えますが、住所を登録しても寮には直接届かず、近くのスーパーやコンビニに取りに行きます。

授業の前後や週末などにはよく凍った湖でスケートをします。スケートシューズはレンタルよりセカンドハンドで安く買えます。フィンランドで主流のメッセージアプリの WhatsApp の留学生向けのグループでチューターの方たちが様々なイベントを企画したり紹介してくれるので、それに参加することも多いです。



↑寮のキッチンとリビングルーム



↑寮の近くの学食



↑大学のキャンパス



↑凍った湖でのスケート



↑寮の近くで見られたオーロラ



↑ Each one teach one で作ったフィンランドのシナモンロール



↑大学で無料でもらえたチケットで地元アイスホッケーチームの試合観戦



↑寮の近くの山の頂上までハイキング

